

5 週 創造の御業

質問 8. 神はその聖定を、どのように実行されますか。

答え I 神が聖定を実行されるのは、創造と摂理の御業においてです。

質問 9. 創造の御業とは何ですか。

答え I 創造の御業とは、神が、すべてのものを無から、力ある御言葉により、六日間で、極めてよく造られたことです。

解説

聖定の実行

神の聖定とは、神の本質の中にあるものとして不変のものです。従って神のご計画は必ず実行されます。神は永遠の昔から行おうと計画なさったことを実行なさいます。神は永遠の前から万物を造ろうと聖定し、それに従ってすべての万物は創造された（黙 4:11）。そして神は、万物を保たせ、統治なさる摂理の御業において、その聖定を実行なさいます（ダニエル 4:35）。

創造の御業

「創造」という単語は、何もない所、無から、何かを造られたことを意味します。これは、すでにあったものを用いて形を整えて造る事とは異なります。神は、既に存在してある中から、形あるようにされたのではなく、何もない無からすべてが存在するようにされたのです（創 1:1、ヨハネ 1:3、ロマ 11:36、I コリント 8:6、黙 4:11）。もし、宇宙のすべての万物が自ら存在していたと仮定するなら、それは神の統制から外れ、独立的に動くはずです。しかし、すべての万物は、神が創造し、神の支配下にあります。

神は御言葉によって造られた

神は御言葉によって創造された。もし、人が何かを作ろうとすれば材料と道具が必要です。ところが神は、そのような物を必要とされませんでした。神は、御言葉によって天と地を造られた（詩 33:6）。神の力ある御言葉によって何もない中からすべてが造られた（ヨハネ 1:3）。イエスも御言葉によって海を静めました（マタイ 8:26－27）。

神が造られたものは完全なもの

神が始めに造られたものは欠陥がなく、完全でありました。神の全能の力によって造られたからであり、神の御心と目的はいつも善であるからです。それで神は、その造られた者をご覧になり、非常に喜ばれました（創 1:31）。しかし、人間の墮落によって罪が世界に入り、罪が被造物を苦しみの中に押し込みました（ロマ 8:22）。

六日創造

神はすべての万物を、一瞬にしてすべてを造られる方であったが、六日の間に

世界を創造されました。そして、七日目に休まれたのですが、それは私たちに、神の創造の秩序を理解できるようにすることです。

神は、第一日に天を創造し、地と水を創造なさった。そして光を創造なさった（創 1:1-5）。第二日には、大空を創造し、大空の上にある水と、大空の下にある水とを区別された（創 1:6-8）。第三日には、地を覆っている水を一所に集め、海と名づけ、乾いた地を陸地とされた（創 1:9-13）。第四日には、太陽と月と星を造り、天に置かれた。それらによって夜と昼をつかさどらせ、季節と、日と、年数があるようにするため、動きと役目と用度を付与なさった（創 1:14-19）。第五日には、水からは魚など、空には飛ぶ鳥を造られた（創 1:20-23）。最後に、第六日には、すべての獣と地をはうものを造られた。そして最初の人を造られた（創 1:24-31）。

創造の目的

神が、すべての万物を造られたのは、ご自身の栄光を現すためでした（詩 33:6、黙 4:11）。世界の万物を通して神の御力と善とを見ることができます。すべての万物には秩序があって、多様性があるように造られたのを見る時、私たちは神の知恵を賛美するようになります（詩 104:24）。神はすべてのものを造られ、最後に人間を造りました。人間に必要なすべてのものを供給してくださる神の善が、創造にも現れます。

私たちは創造の目的から、神の力と知恵と善について確信するしかありません。さらに神は、私たちの不足を満たすために、何でも造ることができるという信仰を持つことができます。そういうわけですから、どのようにして荒野で食卓を備えることができようかと、疑問を抱いてはなりません（詩 78:19）。